

# 平成25年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業計画

## 基本方針

平成25年度本会は、区役所と協働し地域の皆さんが主体となって策定した、港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の基本理念である「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指し、「ひろがる」「つながる」「とどく」の3本の柱をかけた、計画を継続して推進していきます。

推進にあたり「小地域福祉活動の推進」を本会の最重点業務と位置づけ、次の3つの重点事業を進めます。特に地域ケアプラザと連携し、「ひっとプラン港北地区別計画」の推進実施の支援や地区の福祉保健活動情報発信立ち上げ支援、地区単位でのボランティア講座開催をはじめとする区計画の推進「小地域福祉活動・地区社協事業」の支援に積極的に、取り組めます。

「区ボランティアセンター」の充実と障がい児・者外出相談室「おでかけGO！港北」の相談内容から、小地域の通学支援ボランティアの発掘・育成など地域の対応力の充実を図ります。3つの重点事業の取り組みから、住民主体の福祉活動支援と住民から望まれる地域福祉サービスの提供・開発を図ります。

## 重点事業

### 【重点事業1】 地区社協活動・小地域活動の支援

【拡充・新規】

#### 【実施内容】

取組概要	具体的な取組
日常生活圏域で地域住民が支え合うまちづくり推進のために、地区社協活動の支援を強化し、地域で活動するボランティアの育成を行います。	1 「港北区13地区社協活動事例集」の事例追加 2 「地区活動チェックシート」の取組の展開（地域力検定の見直し後の新たな取り組み） 3 地域で活動するボランティアの育成支援
取組概要	具体的な取組
《身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業》【新規】 地域活動を通して把握された要援護者への対応をすすめるため、ケアプラザ等関係機関と連携を更に強め、取り組みを推進していきます。	1 区社協に推進事業担当職員を選任 2 地域ケアプラザ等との連携を更に強め、地域支援を強化することによる、身近な地域の課題把握と解決

## 【重点事業2】 地域ケアプラザとの連携による地域活動推進 【継続】

### 【実施内容】

取組概要	具体的な取組
地域住民が暮らしやすくしていける活動がスムーズに展開できるために地域ケアプラザと連携し、地域カンファレンスを行いながら地区社協活動等の支援を強化します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区別計画を協働でサポート</li> <li>2 地区社協活動の協働支援</li> <li>3 地域で活動するボランティアの育成支援</li> <li>4 地域ケアプラザとの連携を深めていくために小地域カンファの実施</li> </ol>

## 【重点事業3】 ボランティアセンターの充実と障がい児・者外出支援 【継続】

### 【実施内容】

取組概要	具体的な取組
日常生活圏での支え合いを確立していくために、小地域で活動できるボランティア、在宅ボランティアグループを増やします。西部方面のボランティアセンター「やすらぎの家」の機能を強化します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 在宅ボランティアグループ立ち上げ支援</li> <li>2 地区ボランティア講座の開催</li> <li>3 ボランティアセンター「やすらぎの家」の機能強化</li> </ol>
取組概要	具体的な取組
平成22年11月からスタートした「移動情報センター」のより一層の充実を図ります。移動手段の情報入手が困難な障がい児・者の現状を解決するため、的確な情報を提供するとともに、出てきた課題解決のための事業に取り組みます。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談窓口の強化</li> <li>2 移動支援サービス提供者の連絡会の実施</li> <li>3 地域の在宅ボランティア連絡会の実施</li> <li>4 ボランティアセンターと連携した、地区社協とともに実践する、小地域単位での地域主体の外出支援ボランティアの育成、発掘</li> </ol>

上記の3つの重点事業を具体的に進めるために「Ⅰ 福祉啓発」「Ⅱ 個人の自立支援」「Ⅲ 地域の福祉力向上」「Ⅳ ボランティア活動の推進」「Ⅴ 信頼される組織運営」の5本柱で本会事業を進めてまいります。

# I 福祉啓発

<h2>1 区社協ホームページの運用</h2> <p>区社協ホームページをより一層充実させます。 特に今年度はホームページのトピックス欄の見直しを行い、より見やすいホームページ運営を目指します。また、ボランティア募集情報は常に新しい情報に更新し、ホームページを見てボランティアをしたいと考えている方へ情報提供します。地区社協の活動情報の更新・区内のインフォーマル活動団体情報・イベント情報なども継続して掲載していきます。</p> <p>【ホームページアドレス】<a href="http://www.kouhoku-shakyo.jp/">http://www.kouhoku-shakyo.jp/</a> 【Eメールアドレス】<a href="mailto:hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp">hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp</a></p>	単位:千円 〔 〕前年度予算額 1,026〔732〕 (共同募金)876 (市社協補助金)50 (指定管理料)100
<h2>2 広報紙「ふくしのまど」「ボランティアセンター通信」の発行</h2> <p>地域の福祉活動・区社協事業・ボランティアセンター情報を広報紙「ふくしのまど」を通じ、地域新聞を媒体として定期的に広報します。地域新聞発行エリア外の地区については、増刷して町内会回覧で情報提供していきます。 また、定期発行分に加え、ふくしのまど特別号として「あなたのまちの地区社協」と題し、地域住民への地区社協活動を広報を行います。</p> <p>発行予定:年5回【4月・6月(特別号と同時発行)・7月・10月・1月】 発行部数:66,000部/回 配布先:地域新聞に掲載(新聞折込)、拠点窓口、地域ケアプラザ窓口等</p>	2,549〔2,549〕 (指定管理料)300 (市社協補助金)100 (共同募金)2,149
<h2>3 区社協リーフレット・パンフレットの活用</h2> <p>事業ごとにリーフレットやパンフレットを作成して、より効果的・より住民に届く福祉啓発活動を進めます。</p> <p>【区社協リーフレット・パンフレット】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1)地区社協リーフレット改訂の検討 ※Ⅲ-5掲載</li><li>(2)子育て応援マップ「ココマップ」改訂準備</li><li>(3)障がい児者外出相談室パンフレットの配布 ※Ⅱ-3掲載</li></ol>	105〔250〕 (共同募金)105
<h2>4 第31回社会福祉大会の開催</h2> <p>今年度も、【港北ほくほくフェスタ】として、区民フォーラム(区役所主催)やボランティアの集い(港北区ボランティア連絡会主催)と共同開催します。</p> <p>開催時期:平成25年10月25日(金) 開催場所:港北公会堂 内 容:式典・表彰・会員活動の発表等</p>	575〔589〕 (共同募金)
<h2>5 子育て支援情報サイト「ココマップ」の運用</h2> <p>NPO法人びーのびーのと協働し、港北区内の子育て支援に関する情報を一元的に、ホームページを通じて提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ブログを通じたタイムリーな情報提供</li><li>◆季節・時期に合わせた特集記事の掲載</li><li>◆編集委員会の開催(毎月開催)</li></ul> <p>【ホームページアドレス】<a href="http://www.kouhokushakyo.or.jp/">http://www.kouhokushakyo.or.jp/</a></p>	665〔692〕 (共同募金) 619〔592〕 (共同募金)

## II 個人の自立支援

<p><b>1 港北区社協あんしんセンター事業の実施</b></p> <p>高齢の方や障がいのある方など新規相談者への相談の充実を図ると共に、サービス利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行うことで、利用者の自立生活を支援します。</p> <p>関係機関との連携を目的に、地域ケアプラザ地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会や港北区事業所連絡会ガンバ港北に参画します。</p> <p>また、区役所・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・施設などへの事業説明を行い、利用者への開拓を図ると共に、制度を広報します。</p> <p><b>【利用対象】</b>①概ね65歳以上の高齢者 ②障がいのある方で契約能力がある方</p> <p><b>【サービス内容】</b>①相談②金銭管理・定期訪問③預金通帳など財産関係書類の預かり</p> <p><b>【関係機関との連携】</b></p> <p>①地域ケアプラザ地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会 への毎月出席 ②港北区事業者連絡会 ガンバ港北 への役員参画</p> <p><b>【利用者開拓】</b>港北区独自で制作したチラシや事例集を使用し、関係機関へ制度を広報します。</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>1, 220〔800〕 (市社協委託料)150 (利用料収入)247 (賛助会費)3 (自主財源・世帯会費820)</p>
<p><b>2 要援護者移送サービス事業の実施</b></p> <p>公共交通機関の利用が難しい在宅の高齢者、難病患者、障がい者等を対象とする外出支援サービスを行うことで、通院等の日常の外出を支援します。 ※要 事前登録</p> <p>運転ボランティア定例会の開催(隔月):利用者の状況確認や情報共有などを目的に開催します。</p> <p>利用方法:利用希望日の1カ月～1週間前までに電話で申込み</p> <p>利用範囲:月～金曜日の9:00～17:00 原則横浜市内</p> <p>利用回数:1週間に1回まで</p> <p>キャンセル料:当日のキャンセルにつき、片道、往復問わず1日500円</p>	<p>4, 743(4, 589) (利用料収入)949 (市社協委託料)3,224 (賛助会費)450 (自主財源)120</p>
<p><b>3 障がい児・者のための外出相談室</b> <b>「おでかけGO!港北」の充実【重点】</b></p> <p>横浜市障害者プランの「将来にわたるあんしん施策」の一つとして、平成22年度11月から試行事業としてスタートし、23年度4月より本格稼働した、本事業について、より一層の拡充を図ります。移動手段の情報入手が難しい障がい児者の現状を解決するため、的確な情報を提供します。また、相談内容を分析し移動に関する課題を明らかにし、その課題解決のための事業に取り組みます。障がいのある方の移動を支援する情報・相談の拠点として移動情報センターを運営していきます。</p> <p>(1) 相談窓口の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域のボランティアやガイドヘルパー、介護タクシー等の移動情報を収集し、相談者に的確な対応をしていきます。</li> <li>◆障がいのある方が相談しやすいようPRに努めます。</li> </ul> <p>(2) 移動支援提供者の連絡会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆関係機関との情報共有と地域のネットワーク作りに必要な仕組みを構築します。</li> <li>◆ヘルパー事業所や介護タクシー事業所等との連絡会を開催します。</li> </ul> <p>(3) 地域への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域で活動している在宅ボランティアグループとの連絡会を開催します。</li> <li>◆障がい理解を目的に地域へ向けて出張研修を実施します。</li> <li>◆ニーズが高い通学、通所送迎に関して地域と協力し、ボランティア育成をすすめていきます。</li> </ul>	<p>10, 339〔8, 460〕 (市委託金)7,739 (基金)2,600</p>

<h4>4 障がい者余暇支援事業の実施</h4> <p>外出を中心とした余暇プログラムを通じて、障がいのある方の生活圏の拡大を図ると共に障がいの有無を超えた仲間作りを進めます。昨年度に引き続き、青年ボランティアグループ「GIFT」の育成と自立を支援します。</p> <p>余暇活動プログラム:4月～8月 参加者:障がい者・ボランティア・施設職員等</p> <p>港北なつとも(港北区学齢障害児支援事業)への参加</p>	<p>120〔120〕 (共同募金)</p>
<h4>5 障がい者作業所等設置支援資金貸付制度</h4> <p>区内新設の主に運営委員会型「地域作業所」「グループホーム」に対して、横浜市及び市社協障害者支援センターから設立資金交付までの間、必要な資金を貸し付けます。</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額 5,000〔5,000〕 (基金)</p>
<h4>6 在宅福祉分科会の開催</h4> <p>年齢や障がいの有無を問わず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、福祉・保健・医療分野のフォーマルサービス・インフォーマルサービスが連携して支援していくための仕組みづくりを検討します。</p>	<p>V-2 掲載</p>
<h4>7 障がい者セーフティネットワーク分科会の開催</h4> <p>「障がい理解の促進」と「障がい者のエンパワメント」の視点に立った事業展開を図ります。参画者で必要のある活動を整理し検討した下記のテーマに基づいて活動を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「災害時要援護者支援事業を推進することで災害時に活かそう！」</li> <li>◆「地域防災拠点に参加して障がい児者の受入について考えてもらおう！」</li> </ul> <p>25年度は、障がい児者・家族等に「災害時に何に困るのか・どう対応するのか」を考える機会の設定し、要援護者支援事業や地域防災拠点訓練への参加の必要性を当事者に意識してもらえるようにします。また、当事者がどのように考えているのか状況を把握します。</p>	<p>V-2 掲載</p>
<h4>8 保育所分科会の開催</h4> <p>公立・私立の枠を超えたネットワークを活かして、子育てを巡る諸課題解決の場とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区内子育てサロンとの連携を進めます。合同研修や地区別の情報交換等を保育所と子育てサロンと協働で行い、広く子育てという視点で分科会の活動を進めます。</li> <li>◆分科会主催の保育士向け研修会を年3～4回開催します。区役所研修や保育園自主研修と連携し、保育に関する研修を行うようにします。</li> <li>◆公私保育園合同育児講座「わくわく子育て広場」への参画・支援</li> <li>◆学生ボランティア育成支援事業「ボラリーグ☆こうほく」への協力</li> </ul>	<p>V-2 掲載</p>
<h4>9 各種ネットワークへの参画</h4> <p>様々な当事者支援機関、団体のネットワークに参画して協働して当事者支援が出来る体制をとります。</p> <p>(1)港北区自立支援協議会 (2)港北区地域作業所連絡会 (3)こうほく高次脳機能ネットワーク 等</p>	
<h4>10 生活福祉資金貸付事業の実施</h4> <p>必要な世帯に支援が届くように、円滑に事務を進め生活困難者を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談支援</li> </ul> <p>相談者の状況に応じて必要な制度の提供や相談支援を実施するため、相談員の研修を実施するとともに区役所やハローワーク等と連携を推進します。</p>	<p>4,314〔4,134〕 (県社協委託料) 4,014 (自主財源)300</p>

## 11 障がい者自立生活セミナーの開催

障がい者自らができることを増やし、選択して社会生活を営むことができる力を高めるきっかけの場として、セミナーを開催します。

開催形式: 実行委員会にて、事業内容や方法を検討し、実施  
プログラムの実施: 11月～2月頃

130〔新規〕  
100(共同募金)  
30(参加費収入)

### Ⅲ 地域の福祉力向上

<p><b>1 「ひっとプラン港北」の推進</b></p> <p>平成23年度から27年度の5か年計画である「ひっとプラン港北」(第4次地域福祉活動計画と行政計画である第2次地域福祉保健計画を一体的に策定した計画)を推進します。</p> <p>区役所と共同事務局となり、地域ケアプラザと連携しながら、区内13地区別計画が住民が主体となり進められるよう、地域の実情に応じたサポートを行います。また、地区別計画の更新版を発行し、地区別計画のPRを行います。</p> <p>地区別計画推進のサポートの他、区全体計画の推進を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ひっとプラン港北推進委員会の開催</li> <li>◆港北区福祉保健活動応援事業・・・区役所・区社協でチラシの配布(配架)と、チラシ等に「認定事業」であることの標記が可能となります。</li> <li>◆地区のホームページ立ち上げ支援・・・講師を派遣し、地域住民自らが地域情報を掲載したホームページを立ち上げ、運営していけるよう支援します。</li> <li>◆地区単位でのボランティア講座開催・・・ボランティアセンター(再掲)</li> <li>◆おでかけGO港北(再掲)</li> </ul>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>1,680〔2,131〕 (市社協補助金)180 (共同募金)1,500</p>
<p><b>2 みんなの居場所支援</b></p> <p>第3次計画である港北区地域福祉活動計画「Do it!」の重点事業である「みんなの居場所」がより地域住民の居場所として活用されるよう支援を行います。また、合わせて地域の拠点づくりの支援方法を考えていきます。</p> <p>(1)太尾地区「みんなの居場所」 (2)ほっとステーションおおそね (3)ふらっと高田 (4)コミュニティハウス ホットカフェ(城郷地区)</p>	<p>507〔1,510〕 (共同募金)</p>
<p><b>3 地域ケアプラザとの連携強化【重点】</b></p> <p>地区社協支援、あんしんセンター事業、ひっとプラン港北地区別計画推進支援などを、地域ケアプラザとの連携を一層強化していく中で進めます。</p> <p>地域ケアプラザとの具体的な事業として、区社協・地域ケアプラザの支援の方向性の共有化、地域課題の解決方法の検討などを目的に、小地域支援カンファレンスを協働で実施します。</p> <p>また、地域ケアプラザコーディネーター連絡会を開催、地域支援にかかるスキルアップを目的に、コーディネーターを主対象にした研修会を開催した本会事業と連携を強化しケアプラザ支援にもつなげていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域カンファレンスの協働実施 (継続実施:下田・日吉本町・大豆戸・篠原・高田ケアプラザ、新規実施:1ケアプラザ予定)</li> <li>◆地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催</li> <li>◆地域支援にかかるスキルアップ研修の開催</li> <li>◆地区社協の協働支援</li> <li>◆ひっとプラン港北地区別計画推進の協働支援</li> </ul>	<p>150〔200〕 (共同募金)</p>
<p><b>4 港北みんなの助成金による活動支援</b></p> <p>「港北みんなの助成金」を通じ、港北区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動等の支援を行います。また、助成団体情報を「コボット」に掲載し、広く区民に発信していきます。</p> <p>今年度は団体へのヒアリングを継続して行い、団体からの要望による会計担当者向け説明会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆助成規模 約23,448千円</li> <li>◆申込団体 約300件</li> </ul>	<p>23,708〔23,478〕 (市社協補助金) 11,967 (共同募金)2,641 (年末たすけあい) 5,600 (善意銀行)3,500</p>

## 5 地区社会福祉協議会の支援【重点】

地域住民に一番身近な地区社協事業の標準化と力量強化、住民の方々に信頼される地区社協運営の適正化を図り、地区社協の福祉活動を安定的・継続的に行う・活動の質を高める事業を行うとともに、「地域住民とともに取り組む福祉のまちづくり」の具現化に向けて、地区社協活動支援を引き続き行っていきます。

### (1) 地区社協関係会議の開催

#### ◆会長・事務局長合同会議(年5回)

区社協から地区社協へ組織的に依頼する機会、地区社協支援の方向性の確認の機会とします。「ひとつプラン港北」地区別計画推進の進捗状況の報告なども行います。

#### ◆事務局長会議(年5回)

地区社協が抱える様々な課題を解決していくための具体策と、それを実践するための検討をする機会とします。

- ・「活動事例集」の展開
- ・「地区活動チェックシート」(旧地域力検定)の展開

### (2) 「港北区13地区社協 活動事例集」の拡充【新】

地区社協の福祉活動を発表した「地区社協活動情報交換会」(23年度)事例を柱に、「ヒント」や「工夫方法」「広報」などをまとめた地区社協活動事例集を24年度発行しました。今年度は掲載事例拡充を事務局長会で検討し、改訂第2版を発行します。

### (3) 「地区活動チェックシート」に基づく地区社協ヒアリングの実施

昨年度に改訂した「地区活動チェックシート」(旧地域力検定)を活用して、地区社協の運営全般や事業についてヒアリングを行い、課題の共有等を通して地区社協の力量強化と区社協との連携強化を図ります。

### (4) 地区社協関係者研修の実施

#### ◆地区社協役員 新任研修

地区社協の新役員が揃う6月頃に、募金や会費の意義目的や流れ、分科会、予算・決算との関連などについての研修を行います。

#### ◆地区役員 フォローアップ出張研修【新】

地区社協役員向けに、手上げ方式出張型で「社協とは」「募金」「会費」「各種事業」など、地域に出向いて研修を実施します。

### (5) 地区社協役員と区社協事務局との懇談会

地区の次年度の方針をヒアリングし、その支援と区社協事業への反映を目的に12～1月にかけて実施します。

### (6) 「地区社協リーフレット」の改訂の検討

22年度発行、以降増刷を重ねた「地区社協リーフレット」の内容と活用方法について事務局会議で検討します。

### (6) 区社協広報紙による「地区社協活動」の広報

「あなたのまちの地区社協」と題して、地域情報誌による地域住民への地区社協活動の広報を行います。

### (7) その他の支援

#### ◆地区担当職員による支援

#### ◆地区社協活動運営費の交付

#### ◆地区社協事業助成金(賛助会費)の交付

#### ◆地区社協活動推進費(年末たすけあい募金)の交付

## 6 福祉保健活動拠点の運営

横浜市より23年度から27年度の5年間、港北区福祉保健活動拠点の指定管理者に指定されました。より公平・公正な利用・利用者ニーズに即した運営と信頼される拠点運営を目指します。

#### ◆利用調整会議の開催(年2回)

#### ◆防災訓練の実施(年2回)

単位:千円

[ ]前年度予算額

37,382[37,756]  
(賛助会費)15,720  
(市社協補助金)850  
(共同募金)450  
(年末たすけあい)  
20,362

12,780[13,078]  
(指定管理料)  
12,177  
(負担金収入)393  
(市社協補助金)210



## IV ボランティア活動の推進

<p><b>1 区社協ボランティアセンターの強化【重点】</b></p> <p>ひとつプラン港北の柱「ひろがる」では、地域活動の担い手拡充を掲げています。昨年度に引き続き、区ボランティアセンター機能を強化します。</p> <p><b>(1) ボランティアコーディネートの向上</b>  港北区ボランティア連絡会と協働で、活動実践者の視点を加えたコーディネート業務を行います。チーフ4人による相談の継続的対応を行います。チーフとボランティア担当職員で定例的に困難事例の検討を行います。また、ボランティア登録者向けの勉強会・交流会を開催しボランティア登録者の啓発を目指します。  ◆ボランティア登録者勉強会・交流会  ◆コーディネーター定例会・勉強会(年3回)開催  ◆チーフコーディネーターとの定例会議(月1回)</p> <p><b>(2) 地域支え合い型ボランティア活動の支援</b>  地区域で活動している「在宅生活支援ボランティアグループ」と連携し、活動の立ち上げマニュアルを作成します。そして、新たな地区での地域支えあい型ボランティア活動の立ち上げ支援を行います。</p> <p><b>(3) 地区社会福祉協議会との協働</b>  新吉田地区社会福祉協議会と協働で、西部地区ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営にあたります。  今年度は、①コーディネーター研修の実施②ボランティア体験学習の実施、③ミニサロンの開催、を柱に【地域性を活かしたボランティアセンターづくり】をすすめる他、より一層のPRに努めます。</p> <p><b>(4) ボランティアセンター運営委員会の開催</b>  多様な立場の委員により、年2回開催します。  ◆協議内容 ボランティア登録者の拡充、事業の企画・立案・評価など</p> <p><b>(5) 目的、対象、ニーズに応じた入門・育成講座の企画・実施</b>  ◆音声訳ボランティア講座(中級編)【9月実施】  港北録音グループと共催し、視覚障がい者のニーズに応えるため、区内音声訳ボランティアのスキルアップを目指します。  ◆音声訳ボランティア講座初級編【1～3月実施】  区内で活動する音声訳ボランティアが減少しているため、港北録音グループと共催して初級者講座を開催し、区内音声訳ボランティア活動者の育成を目指します。  ◆傾聴講座【9月実施】  福祉に関する活動を行っていく上では欠かせない傾聴・コミュニケーション技術の習得を目的とします。  ◆精神保健ボランティア講座【3月実施】  精神保健分野で活動するボランティアの育成講座を開催します。</p> <p><b>(6) 地区単位でのボランティア育成講座の実施</b>  地域活動者育成のため、地区単位でボランティア講座を行います。平成25年度は3地区で講座を開催します。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  3,690〔3,322〕  (指定管理料)3,230  (善意銀行)320  (市社協補助金)20  (雑収入)120</p>
<p><b>2 福祉教育の推進</b></p> <p>学校側の事業意図や取組み方法に迅速かつ弾力的に対応することで、区内福祉教育の質の向上を図ります。</p> <p><b>(1) ボラリーグ★こほくの実施</b>  学生が年間を通してボランティア体験をすることで、次世代育成を支援します。  ◆夏休みボランティア体験講座の実施  地域子育て支援拠点「どろっぷ」との協働事業  ・協力:区内子育てサロン、区内保育所、地域ケアプラザ  ◆春休みボランティア講座の実施</p> <p><b>(2) 福祉教育相談調整機能の充実</b>  福祉の体験学習に関する相談対応や協力者紹介などを円滑に進めます。</p> <p><b>(3) 福祉教育における地域ケアプラザとの連携</b>  地域・地域ケアプラザ・学校・区社協が日常的に連携することを目指し、福祉教育の実施に企画段階から地域ケアプラザと港北区社協が連携して進めます。</p> <p><b>(4) 「先生のための福祉講座(市域)」の共催</b></p>	<p>103〔100〕  (市社協補助金)100  (自主財源)3</p>

<h3>3 ボランティアセンター広報・情報機能強化</h3> <p>ボランティアセンター情報・ボランティア募集情報をはじめ区内福祉保健関係施設・団体の情報を提供することでボランティアセンター機能を住民に周知し、地域福祉活動への参加を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ボランティアセンター通信」発行 発行:年5回【4月・6月(特別号と同時発行)・7月・10月・1月】 発行部数:66,000部 配布先:地域新聞に掲載(新聞折込)、拠点窓口、地域ケアプラザ窓口等 ボランティア募集情報の掲載</li> <li>◆登録者向けボランティア募集情報の発信 登録者の情報更新を行うとともに、ボランティア募集情報を登録者へ送付し、ボランティア活動を促進します。</li> <li>◆ニード情報、活動団体情報の掲示 ボランティアセンター・福祉保健活動拠点内に各種情報を掲示して、情報提供していきます。</li> <li>◆ホームページを通じたボランティア情報の発信</li> <li>◆区民活動支援センターと連携した情報発信 区民活動支援センターと連携し、区役所1階に設置される掲示板にて、ボランティア募集情報の提供をしていきます。</li> </ul>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額 I-1, 2 掲載</p>
<h3>4 ボランティア・市民活動分科会の開催</h3> <p>分科会員が主体的に活動を行い、ボランティア・市民活動分科会新聞を発行します。また、ボランティア活動者のスキルアップやボランティア活動の啓発に関する勉強会・講座を開催します。さらに、港北ふれあいまつりにブースを出店しボランティア活動の啓発に努めます。</p>	<p>V-2 掲載</p>
<h3>5 港北区災害ボランティア連絡会の運営</h3> <p>港北区災害ボランティア連絡会の事務局として、災害ボランティアコーディネーターの育成、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害ボランティア連絡会定例会(8月以外月1回)</li> <li>◆災害ボランティアシミュレーション</li> <li>◆災害ボランティアセミナー</li> <li>◆施設見学</li> <li>◆災害ボランティア連絡会ニュース毎月発行</li> </ul>	<p>74(50) (市社協補助金)40 自主財源34</p>
<h3>6 善意銀行の運営</h3> <p>区内の福祉活動・市民活動を支援する財源として活用します。また、善意銀行の周知に努めます。</p>	<p>910〔1, 100〕 (指定寄付金)</p>

## V 信頼される組織運営

<p><b>1 信頼性のある事業経営</b></p> <p><b>理事会・評議員会・部会・委員会の開催</b>          地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深め、地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により組織運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆理事会(年5回)</li> <li>◆評議員会(年4回)</li> <li>◆部会 専門部会・地域部会・当事者部会・学識部会(各年1回程度)</li> <li>◆委員会 経営改善委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンター運営委員会 ※Ⅳ-1 掲載</li> <li>港北みんなの助成金審査会・幹事会 ※Ⅲ-4 掲載</li> <li>業者選定委員会</li> <li>「ひとつとプラン港北」推進委員会 ※Ⅲ-1 掲載</li> </ul> </li> </ul>	<p>単位:千円          [ ]前年度予算額</p> <p>405[399]          (正会費)264          (賛助会費)111          (市社協補助金)30</p>
<p><b>2 組織体制の整備強化</b></p> <p><b>(1)会員組織の拡充</b></p> <p>正会員の拡充により区社協の組織基盤の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆会員メリット事業 会員セミナーの開催</li> </ul> <p><b>(2)分科会活動の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆連合自治会町内会分科会</li> <li>◆民生委員児童委員分科会</li> <li>◆地区社会福祉協議会分科会</li> <li>◆保育所分科会</li> <li>◆在宅福祉分科会</li> <li>◆ボランティア・市民活動分科会</li> <li>◆障がい者セーフティネットワーク分科会</li> </ul>	<p>998[1097]          (共同募金)100          (正会費)877          (賛助会費)21</p>
<p><b>3 苦情解決システムの充実</b></p> <p>苦情解決システムを充実させることで、利用者からの意見や要望を受け入れやすい環境をつくるとともに、苦情をニーズとして受け止め、利用者の権利擁護、事業・サービスの質の向上に努めます。</p>	<p>-</p>
<p><b>4 リスクマネジメントの推進</b></p> <p>リスクマネジメントを職員間で徹底します。また、事故等についての基本的な対応を明確にします。</p>	<p>-</p>
<p><b>5 情報公開・個人情報保護制度の運用</b></p> <p>社会福祉法の理念に立ち、透明性の高い事業運営を行います。また、個人情報の適切な取り扱いを徹底して信頼性の高い運営を行います。</p>	<p>-</p>

## 6 財政運営の適正化

### (1) 自主財源の安定確保

特色ある区社協活動を進めていくために、自主財源の確保に努めます。  
賛助会員のさらなる増員を図るため、区社協広報紙「ふくしのまど」による定期的な賛助会費のPRを行います。また賛助会員章(ステッカー)を配布します。

- ◆ 正会費 一団体5,000円
- ◆ 世帯会費
- ◆ 賛助会員運動 一口 2,000円
- ◆ 善意銀行
- ◆ 共同募金・年末たすけあい運動

### (2) 社会福祉事業基金等の運用の適正化

## 7 職員の育成

市社協内部研修やウィリング横浜などの研修に参加して、職員それぞれが持つ業務の専門性を高めるため、必要な知識、技術の研鑽に努めます。さらにMBO※や人事考課制度を活用して、一人ひとりの職員が組織目標を認識して業務遂行していきます。  
また、小地域支援を事業の柱とする区社協の職員に必要なコミュニティワーク技術を高めるため小地域カンファレンスを月1回、港北区社協内部研修を年1回開催します。

※ MBO……組織の中の職員に対しどのような管理をすれば最も効率よく、大きな成果が期待できるかといった経営管理手法。【目標による管理】といわれる

## 8 法人運営事務の効率化

- (1) インターネットバンキングの活用
- (2) グループウェアの活用
- (3) 団体事務の効率化

単位:千円  
[ ]前年度予算額

303[450]  
(賛助会費)265  
(共同募金)38

90[140]  
(世帯会費)

-